ふたかみ NEWS
プチトマト

社会福祉法人ふたかみ福祉会
〒583-0856 大阪府羽曳野市白鳥 3-16-1 木村ビル 4 階　TEL 072-959-3221 FAX 072-957-1604
Email：futakami@kagayaku-inochi.com　https://kagayaku-inochi.com/company/
発行責任者：石本悦二　編集責任者：関口奈緒美

ハピバール 作品紹介

「貼り絵」
今年の4月から新しく入所された方の作品です。ハピバールで初めて貼り絵に挑戦された時の作品です。いろんな色を使いカラフルな作品となりました。

「ガラス瓶と陶器の色世界」
不思議な形をしたガラス瓶と陶器。周りの円はコンパスを使い、中は細かく色を塗っており、繊細な作品です。また、よく見るとお魚やフクロウといった生き物が隠れていますね。

「波」
カフェのウッドデッキで歌を歌ったりダンスを踊っている歌のお兄さん。
クレヨンやクーピーなどを使い波の絵を描かれました。何度も重ね塗りをすることで深い作品となっています。

新商品！『志田封筒』

ハピバール志田勇馬さんデザインの封筒です。
（封筒柄違い5枚、宛名シール5枚入り）

6月 物品販売☆イベント

はびきの園

18日（木）葛井寺	10:00～12:00
25日（木）道明寺天満宮	10:00～12:00
28日（日）滝谷不動	9:00～14:00

※感染症予防のため中止する場合がございます。

■後援会入会及び更新の方々（敬称略）
【２０２０年度４月】
・丹羽久子　鎌田修　上峠通男　平岡俊雄　那須勝行　井上忠志　佐藤泉　鈴木繁男　森慶一　杤山保
　福井良蔵　佐野省三　赤井俊文　宮本順市　西原俊子　上戸将博　叁倉克枝　荻野好美　安井敏雄
　新田金次　山本和美　樽井義憲　塩野貴司　森信幸　清水一　重信豊和　志田勉　・・・・・以上５口
・古谷章　・・・・・以上３口
・中川裕子　澤下則子　黒萩友一　細井聡子　・・・・・以上１口

■ボランティア　・・・・であい 様／畑英作 様／細川直幸 様／松倉和代 様／垣内秀夫 様
■アルミ缶回収（４月分）　・・・・５４０kg

ありがとうございました

◆2020年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆
法人では用地を確保し、暮らしの場の充実をはかっていきます。
皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。
【個人会費：1口3,000円　団体会費：1口10,000円】　郵便振替口座：００９４０－５－３２５８９４

関係者すべての命と健康を守るために

皆さんご存じの通り、コロナウイルスが世界中で蔓延し、３月ころより大阪府下の感染率も高まっていきました。目に見えないウイルスに対して、また誰もが経験したことのないものにどう対応していくのかが、私たち社会福祉の現場にも問われてきました。

ふたかみ福祉会では「かがやく命を大切にする社会をつくります」という法人理念を基本に、障害のある人が行き場をなくして不安な暮らしとならないようにするためにも、できうる限り通常の開所をおこなっていくことにしました。

４月以降は国から緊急事態宣言が出されたこと、また羽曳野市近隣の事業所等でウイルス感染者、もしくは濃厚接触者が出始めたこともあり、通常通りの開所をおこなうことだけが障害のある人の安全を守ることではないことも見極め、不安のある方の自粛、また開所時間を短縮することなどで、世界中が緊迫した状況の中でも直接密に支援する職員の負担を少しでも減らし、長いスパンで支援をおこなえる体制を維持しようという方針にしてきました。

刻一刻と状況が変化していく中で、何が正解かもわからない中ではありましたが、誰にとっても最善の方法は何かを考えながら検討してきました。

このような緊張感がある中でも仲間の笑顔に励まされ、ご家族からは手作りのマスクをいただいたりし、人と人とが密に接しなければならない社会福祉の現場であるからこその「温かい心」をいただき、ウイルスという恐怖にばかり目を向けず、障害のある人、家族、支援する職員、そして社会に目を向けて物事を見つめていく大切さを改めて感じたきっかけにもなりました。

この機関紙が皆さんのお手元に届く６月には、また状況が変化していることも予想されますが、理念を基本に最善の方法で今後も取り組んでいきます。

（関口な）

第４３次国会請願署名のゆくえ

古くはグループホームを制度化する一つの要因になったり、悪名高い自立支援法を一度は廃止にする事に繋がりました。最近では毎年１００万筆を上回る署名を集め、ギネスに載る事にもなりました。時の権力に頼らず、当事者の立場に立って続けてきた事の評価ではないでしょうか。

しかし今年は新型コロナウィルスの影響で、その活動が大きく制限されてしまいました。街頭に立てない。対面してお願いできない。また、小中学校などの休校で子育て世代の職員が出勤できないなど、障害のあるなかまを支える環境にも大きな打撃を与えました。

例年に比べ署名の到達は少ないですが、全国から集められた声は変わりなく国会へ届けられます。直接請願をする事はできませんが、地元の議員に紹介議員になって貰えるように依頼をしました。承諾された議員には署名の束を送付し、国会で審議されるようになっています。今回も政党、各会派で取り扱いが様々です。

障害者のある方の切な願いを聞く姿勢を持っているのかどうかは、私たちの次の投票に反映したいと思います。

この間、障害福祉事業所の多くは開所をし続け、障害のあるなかまやその家族の生活を支えてきました。また、そこで働く職員は不安を抱えながら働いてきました。きょうされんはそういったなかまや職員、事業所を励ましメッセージを送り続けてきました。現場の意見や悩みを全国から集め、新型コロナウイルスへの対応については４回に渡って国に要望書を提出しています。（５月20日時点）その甲斐あってか、障害者福祉事業所には柔軟な対応がされていると思います。私たちの声を届けて政策に変えていく運動をこれからも守り育てていく事が大事だと感じています。

ふたかみ福祉会の署名到達１，２０８筆、募金５１，０３０円でした。

ご協力ありがとうございました。

（関口こ）

「ゆっ たり班」ぼたもち・桜餅づくり

５月８日ぼたもち、桜餅づくりをおこないました！ゴマを擂り、あんこ玉を作り、もち米をつぶしたものを平らにして包みました！各々の得意分野を生かしながら作り上げています。作っている際にもいい匂いがして口を開ける仲間もおり、どんなものが出来るかと楽しみにしながら感覚に刺激を得て経験の幅を広げる仲間の姿がみられました。

４種類のもちを作り、香りと味を楽しむことが出来た感覚活動となりました！（田岡）

ハピバールも元気に活動しています！

下請け作業は、去年より預かっているイチジクの皮むきを頑張っています。たくさんのイチジクを預かったので、毎日少しずつ協力して、皮むきをしています。新入所の仲間に教えてあげる先輩の姿もたくさん見られています。連絡があれば富田林にイチゴを取りに行き、ヘタ取りも行っています。６月にはぶどう作業が始まります。それまでに、イチゴとイチジクを終われるように、呼びかけて作業をしています。（大伴）

カフェの作業では調理や洗い物の他に、ギフトＢＯＸに絵を描いたり包装紙にハピバールオリジナルのハンコを押す作業などをしています。お客様が買って下さる時に「かわいい～！」と喜んでくれることが嬉しくてみんな進んで作業しています。カフェにも展示してありますので、是非手に取ってご覧ください。販売もしております。（大西）

アトリエでは現在、絵の具がブームになっています。なかまの多くが絵の具を使って楽しく絵を描いています。また、カラフルなペンで絵を描いたり、色紙をちぎって貼り絵をするなかまもいます。ハピバールでは、なかまがそれぞれ自由な発想を浮かべ、日々創作活動に励んでいます。（阪本）